

電子版センターだより

Gunma Prefectural Education Center
群馬県総合教育センター - No.31 -

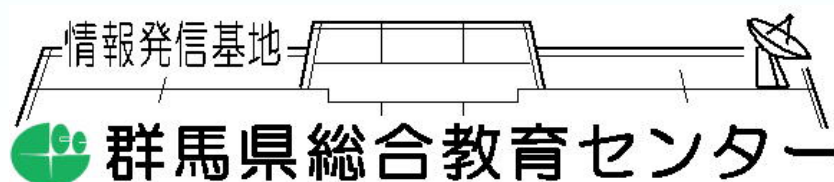


令和4年7月13日(水)配信

<掲載内容>

	頁
1 研修講座の御案内	1
2 特別支援教育センター：指導資料の御紹介等	2
3 夕やけ保育研修会について	3
4 教育イノベーションプロジェクトに係る取組について	4
5 初任者研修の「事例研修」と 「点検指導による研修」の充実	5
6 子ども教育相談室の御紹介	6
7 「第20回 ぐんま教育賞 杉の子賞」の募集	7
8 当センターへ来所される方へ	8

編集後記



研修講座の御案内

特色ある講座の御案内

総合教育センターは、先生方の学びを支援するため、国や県の動向、今日的な教育課題に対応した研修の充実を図っています。

3471 ぐんま教職員キャリアアップ研修講座 ※講義ごとの申込みも可能		
急速に変化する社会に対応した教育の在り方を理解するとともに、学校運営への参画意識や実践的指導力を高め、同僚や地域と協働して教育活動を推進する力を身に付けます。		
期日	講義・内容等	時間・形態
11/25 (金)	講義「学校におけるリスク・マネジメント」 講師 群馬大学大学院教育学研究科 高橋 望 准教授	14:50～ オンライン研修
1/19 (木)	講義「学校運営への参画と組織的な取組の推進」 講師 (学)昌賢学園群馬医療福祉大学 鈴木 靖弘 事務長	13:15～ オンライン研修
	講義「企業や社会で必要とされる力」 講師 島津会計税理士法人 島津 文弘 代表社員	

3730 ゲートキーパー養成研修講座		
児童生徒の自死防止に向けて、児童生徒が発するところのSOSに気付き、声を掛け、話を聴き、必要な関係者につなげ、見守ることができる教職員を育成するために、新しい講座を開設しました。		
期日	講義・内容等	時間・形態
12/16 (金)	講義「ゲートキーパーとしての心得」 講師 日本ゲートキーパー協会 大小原 利信 理事長	13:35～ 集合研修
	講義・演習「ロールプレイングシナリオ」 講師 日本ゲートキーパー協会 大小原 利信 理事長	

4030 SDGsの実現を目指した人材育成セミナー ※講義ごとの申込みも可能		
持続可能な社会の構築を目指して、自分の頭で未来を考え、動き出し、生き抜く力をもった「始動人」の育成について考える公開講座を新設しました。対象は教職員及び一般県民です。		
期日	講義・内容等	時間・形態
8/3 (水)	講義・協議「持続可能な社会を創造する教育活動の在り方」 講師 日本持続発展教育推進フォーラム 理事 ESD・SDGs 推進研修室 手島 利夫 室長	13:35～ オンライン研修
	講義・協議「未来を見据えた人材育成」 講師 カネコ種苗株式会社 金子 昌彦 代表取締役社長	15:10～ オンライン研修

※希望研修及び公開講座の受講申込みは、実施の3週間前まで受け付けています。各研修の詳細や受講申込みの方法については、当センターWebサイト (<https://center.gsn.ed.jp/>) を御覧ください。

【群馬県総合教育センター 研修講座のページ <https://center.gsn.ed.jp/kouza>】

特別支援教育センター：指導資料の御紹介等

特別支援教育センターでは、特別支援教育の推進に役立つ資料を発行しています。今回は、「今日からやってみよう！特別支援学級におけるICT活用」を紹介いたします。なお、紹介する資料は当センターWebページからダウンロードできるようになっています。【<https://center.gsn.ed.jp/tokushi>】

指導資料の紹介

「今日からやってみよう！特別支援学級におけるICT活用」

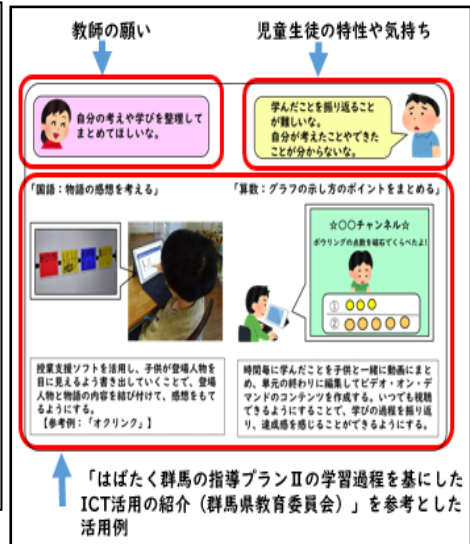
作成の趣旨

群馬県教育委員会では、新しい時代に求められる児童生徒の資質・能力の育成に向け、ICTを積極的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めています。

第2期特別支援教育推進計画においても、障害のある子供等の豊かな学びを保障するために、障害のある子供等に対応可能な基礎的知識や指導に係る専門性を高めていくことを求めています。

そこで、特別支援学級に在籍する児童生徒を担当する先生方に、児童生徒の特性を生かしたICT活用の実践例をまとめ、リーフレットを作成しました。

先生方にご活用いただき、授業等の中にICTを積極的に取り入れることで、児童生徒の学びの可能性が広がり、資質・能力が向上していくことを期待しています。



「はばたく群馬の指導プランⅡの学習過程を基にしたICT活用の紹介(群馬県教育委員会)」を参考とした活用例

研修講座の案内

※申込前に 0270-26-9218 (特別支援研究係) へ一報頂き、申込可否の確認をお願いします。

特別支援教育充実研修講座 ※期日選択あり		
7/29 (金)	講義「子供の資質・能力を育てる各教科等を合わせた指導」 講師 植草学園短期大学 こども未来学科 学科長 佐藤 慎二	ライブ配信 (双方向) 9:30 ~ 11:45
8/4 (木)	講義・演習「知的障害のある児童生徒に対する学習指導」 講師 高崎健康福祉大学 人間発達学部 特任教授 浦崎 源次	ライブ配信 (双方向) 9:20 ~ 12:15
発達障害児学習支援研修講座 ※期日選択あり		
7/28 (木)	講義「ワーキングメモリ理論を生かしたアセスメントと学習支援」 講師 広島大学大学院 人間社会科学研究科 教授 湯澤 正通	ライブ配信 (双方向) 9:20 ~ 11:35
8/22 (月)	講義「発達障害のある子供のICTを活用した学習支援」 講師 広島大学大学院 人間社会科学研究科 准教授 氏間 和仁	ライブ配信 (双方向) 9:20 ~ 11:35
心理検査研修講座 ※用意するもの…「S-M社会生活能力検査用具一式」		
8/1 (月)	講義・演習「S-M社会生活能力検査の評価結果の解釈と指導への生かし方」 講師 一般社団法人 障がい児成長支援協会 協会長 山内 康彦	ライブ配信 (双方向) 9:20 ~ 11:35

夕やけ保育研修会について



幼児教育センターでは、幼児教育や家庭教育、幼保こ小の連携・接続をめぐる課題を解決し幼児期の教育の充実を図るため、幼児教育施設・小学校・特別支援学校等の教職員や子育ての支援者の皆様を対象とした夕やけ保育研修会を実施しています。

今年度は6回のオンライン研修を企画いたしました。特別講演会は、12月26日（月）に、北海道大学大学院教育学研究院准教授の川田学氏に御講演いただきます。皆様の御参加をお待ちしています。

令和4年度 夕やけ保育研修会

(1) 保育 café くっちゃべり亭		15:15～16:50 (オンライン)	
6/28 (火)	みんなで語ろう (環境の構成)	「くっちゃべり亭」という仮想のカフェで、御来店（御参加）いただいた皆様とお茶（各自で御用意ください）を飲みながら保育について語り合い、明日への活力や保育改善のヒントを得ていただければと考えています。御来店お待ちしております！	
9/1 (木)	みんなで語ろう (保護者支援・幼児理解)		
10/26 (水)	みんなで語ろう (教材研究)		
(2) 発達の理解と保育		15:15～16:50 (オンライン)	
8/23 (火)	乳幼児の発達の理解と保育	群馬大学大学院 教育学研究科 准教授	大島 みずき 氏
11/15 (火)	気になる幼児の理解と対応 ティーチャー・トレーニング をとおして	群馬大学大学院 保健学研究科 講師	十枝 はるか 氏
(3) 特別講演会		14:30～16:30 (オンライン)	
12/26 (月)	個人を尊重しつつ、 「つながり」を育む保育の役割	北海道大学大学院 教育学研究院 准教授	川田 学 氏

川田 学 氏の著書の一部を紹介します。

保育的発達論のはじまり—個人を尊重しつつ、「つながり」を育むいとなみへ ひとなる書房 (2019)

夕やけ保育研修会 お申し込み方法

幼児教育センターWebページの申し込みフォームから、お申し込みください。

参加を希望する講座の、「申し込み」欄のURLをクリックするとGoogleフォームが開きます。
必要事項を記入して「送信」してください。

お問い合わせ先：群馬県総合教育センター幼児教育センター
TEL：0270-26-9203（直通）

幼児教育センターWebページはこちら↓

【 <https://center.gsn.ed.jp/yokyo> 】

幼児教育センターWebページ

令和4年度
夕やけ保育研修会

お申し込み方法

- ◆オンライン開催(ZOOM)です。
- ◆お申し込みは、各研修の「申し込み」欄のURLをクリックして、Googleフォームに必要事項を記入して送信ください。

(1) 保育Café「くっちゃべり亭」 15:10～16:45 (オンライン)			
期日	話 題	講 師	申し込み
6月28日(火)	みんなで語ろう (環境の構成)		https://forms.gle/wvL1W4XTGdU7z2Ky7
9月1日(木)	みんなで語ろう (保護者支援・幼児理解)		https://forms.gle/G5Gk3e182bHc1Tqy6
10月26日(水)	みんなで語ろう (教材研究)		https://forms.gle/fjeQyba8meNpyRw5

保育Café「くっちゃべり亭」という仮想のお店で、特に講師を立てず御来店（御参加）いただいた皆様とお茶を飲みながら保育について語り合い、明日への活力や保育改善のヒントを得ていただければと考えています。御来店お待ちしております。
お茶等は御自分で用意してください。

(2) 発達の理解と保育 15:10～16:45 (オンライン)			
期日	講義題	講 師	申し込み
8月23日(火)	乳幼児の発達の理解と保育 (仮)	群馬大学大学院 教育学研究科 准教授 大島 みずき 氏	https://forms.gle/3pM8k4t18r4v6
11月15日(火)	気になる幼児の理解と対応 ティーチャー・トレーニングをとおして	群馬大学大学院 保健学研究科 講師 十枝 はるか 氏	https://forms.gle/3pM8k4t18r4v6

(3) 特別講演会 14:30～16:30 (オンライン)			
期日	講義題	講 師	申し込み
12月26日(月)	個人を尊重しつつ、「つながり」を育む 保育の役割	北海道大学大学院 教育学研究院 准教授 川田 学 氏	https://forms.gle/3pM8k4t18r4v6

教育イノベーションプロジェクトに係る取組について

群馬県で進めている「教育イノベーションプロジェクト」の一環として当センターでは教員の ICT 活用指導力の向上に向けて、様々な研修や事業を実施しています。今回は「Web セミナー」「先進プログラミング教育集中セミナー」について御紹介いたします。

Web セミナー

今年度は、個別最適で協働的な学びの実現に向けた Web セミナーや、授業ですぐに使える各種アプリの活用方法を身に付けるミニ研修などを実施予定です。市町村教育委員会等を通して、実施要項が配布されますので、奮って御参加ください。以下には、過去に実施された Web セミナーを御紹介します。

個別最適な学びと協働的な学びについて

講義「1人1人の学びを深める1人1台端末の活用～個別最適な学びと協働的な学び～」(67分)

信州大学教育学部 准教授 佐藤 和紀 氏



スタディサプリの効果的な活用について

実践事例紹介「スタディサプリ活用」(30分)

館林市立第三中学校・片品村立片品中学校

動画はG. ICTサイト (<https://ict-support.gsn.ed.jp/>) から閲覧できます。このサイトには次のようなICT活用教育のコンテンツがありますので、是非御視聴いただき、日頃の実践に御活用ください。

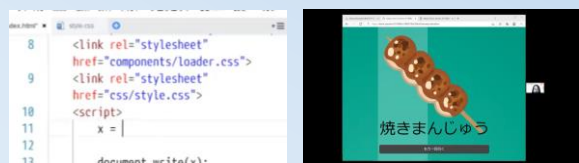
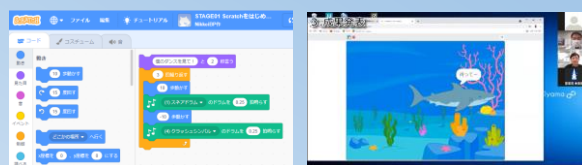
- ・ [下仁田町の活用事例](#) (教委：21分 小学校：35分 中学校：30分)
- ・ [講義「GIGAスクールにおける情報活用能力の育成」](#) (69分)
- ・ [1人1台端末の活用に向けたWebセミナー](#) 【様々な質問への有識者の回答】 (57分)

先進プログラミング教育集中セミナー

プログラミングに関心の高い児童生徒を対象に集中セミナーを、夏休み前半の3日間、オンラインで実施しています。プログラミングで未来を創造し、Society5.0 時代をたくましく生きる子供の育成を目指しています。

令和3年度の様子 小学校部門

Scratch3.0 を利用してアプリやゲームの開発を行いました。3日目の成果発表では個性豊かな作品が発表されました。



令和3年度の様子 中・高校生部門

Java Script を利用 (Monaca Education の開発環境) してアプリやゲームの開発を行いました。3日間でテキストプログラムによるゲーム開発をすることができました。

今年度は7月30日、31日、8月7日に開催します。その様子は、後ほど当センターWeb ページで紹介する予定です。詳細は改めてお知らせいたします。その際は是非御覧ください。

初任者研修の「事例研修」と「点検指導による研修」の充実

小・中学校初任者研修は令和4年度から全ての初任者配置校において「チーム方式」で行っています。今回は「事例研修」及び「点検指導による研修」について紹介します。

日々の業務の中で実施する「校内における研修」としてカウントできるようにしました。



研修の特性上、年度当初の計画書には位置付けられないため、実施や報告書へのカウントを忘れてしまう事例が見られます。合わせて10コマ程度を計画的に進められるようにしましょう。

それぞれの研修の方法と進め方は次のとおりです。

事例研修（生徒指導上の問題への対応等、場面を捉えて行う）

初任者が直接的に対応



※報告書では1事例1カウント

生徒指導事案の共有



校内の教員（生徒指導主事等）

いつ、どこで生徒指導しているのだろう？
どのタイミングで先生方に声をかけたら、よいのだろうか？



初任者A

一方的に指導するのではなく、生徒からの考えを引き出し、どのような言葉を選び、どのように進めていけばよいのか、とても勉強になりました。



初任者B



生徒指導の在り方について実地で研修を行います。事例を通して学んだことを、初任者が自覚できるような働き掛け（口頭指導）を行いましょ。初任者と指導の場を共有する機会を増やしましょ。

点検指導による研修（初任者が作成した資料や諸表簿等に朱書きをし、指導する）



校内の教員
（学年主任等）

- 学級経営案、会計簿等
- 通知表や指導要録の所見、評価・評定
- 研究授業等の学習指導案

初任者による資料等の作成

資料等への朱書き

返却時に口頭での指導

※資料等の作成を通して学んだことを、初任者が自覚できるような働き掛けを行う。
※30分程度の短時間可。

保護者や児童生徒に伝わりやすい文章の書き方が分かりました。学習指導案についても、的確なアドバイスがもらえて助かりました。



初任者



点検指導による研修の前に文書等の扱いや作成の意義、方法等を研修する機会を設ける等、授業研修やメンター研修と関連させて行いましょ。

チーム方式は、教職員の一人として職務を進める中で初任者の職能成長を図ることを意図した研修方式です。拠点校指導教員や校内指導教員だけでなく、管理職を中心とした校内の教職員で初任者に対し指導・助言を行ったり、協働・相談の機会を設けたりして「チーム」として連携し、実践的で効率的な研修の実現を目指していきましょ。

子ども教育相談室の御紹介

子ども教育相談室では、「子ども教育・子育て相談」として、乳幼児から高校生までの教育や子育てに関する相談に対応しています。今年度も「子ども教育相談カード」を県内の各学校・園に配布しました。是非、御活用ください。



「子ども教育・子育て相談」について

電話相談・来所相談・訪問相談（発達相談のみ）を実施しています。来所相談は予約制ですので、事前に下記電話番号へ御相談ください。 ※通話料は有料です。 子ども教育相談室 電話：0270-26-9200



「24時間子供SOSダイヤル」について

いじめに関する緊急の相談や子供のSOS全般に対応するため、24時間、通話料無料で相談を行っています。保護者の方も相談できます。

子ども教育相談室における来所相談について

子ども教育相談室では、不登校や生活リズムの乱れなどの教育相談、子供の発育・発達などの発達相談、子育て・保育相談を来所相談として行っています。また、臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士への相談も受け付けています。子供への関わり方等について、一緒に考えたり、それぞれの立場から専門的なアドバイスを受けたりすることができます。

臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士への相談は事前予約が必要です。希望される方は、上記電話番号(0270-26-9200)にお問合せください。

来所相談の開催日等の詳細については、当センターWebページの「子ども教育相談室」を御覧ください。

【<https://center.gsn.ed.jp/sodan>】

来所相談についてのお願い

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1日の来所相談数を制限しています。来所時は受付にて、御家族の健康状態や感染流行地域への訪問歴等を確認させていただいております。

また、相談時は、マスクの着用をお願いいたします。

御理解と御協力をお願いいたします。

よろしくお願ひします



【不登校児童生徒・保護者への支援に自立支援アドバイザーを派遣いたします】

自立支援アドバイザー3名が要望に応じて教育支援センター（適応指導教室）を訪問いたします。福祉や医療等に関わる専門的な知見をもつアドバイザーが児童生徒の実態に合わせて支援や助言をします。詳細については、子ども教育相談室（0270-26-9217）にお問合せください。

「第20回 ぐんま教育賞 杉の子賞」の募集

本賞は、教職員から群馬県の教育の向上に関する考え方や取組を募集するとともに、寄せられた教育の向上に関する提言やアイデアを共有し、広報活動を行うことで、群馬県の教育力向上を目指すことを目的としています。

○募集内容

- ・教育の向上に関する考えや実践・研究等について論文形式でまとめてください。

○対 象

- ・県内の幼児教育施設・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校・大学等教育関係機関に勤務する教職員

○賞（各部門ごと）

- ・最優秀賞 1編（賞状・図書カード2万円分）
- ・優 秀 賞 若干編（賞状・図書カード1万円分）



令和3年度 第19回 最優秀賞
「地域とともに「守る」・「伝える」心を育む教育活動の実践
 ～総合的な学習の時間における伝統や文化の継承を通して～

○募集期間

- ・令和4年8月29日（月）～10月7日（金）必着

○応募方法

- ・郵送又は電子メール

○そ の 他

- ・ワープロソフト等で作成をお願いします。
- ・A4判（1枚40字×45行）で10枚以内とします。

タイトル	12ポイント MSゴシック体
サブタイトル	10.5ポイント MSゴシック体
本文	10.5ポイント MS明朝体

教育の向上への
実践・研究



主題は自由
ワープロソフトで
作成

- ・項立て、箇条書きなどを取り入れ、読みやすさを重視してください。
- ・図、表、写真などを入れて全体のレイアウトを工夫してください。
- ・肖像権、著作権等に十分配慮してください。

たくさんの応募をお待ちしています！

【送付・問い合わせ先】
 群馬県総合教育センター内 ぐんま教育賞募集事務局
 〒372-0031 伊勢崎市今泉町1-233-2
 TEL : 0270-26-9214 (直通) Fax : 0270-26-9222
 URL : <https://center.gsn.ed.jp/kyoikusho> e-mail : g-kyoikusho@edu-g.gsn.ed.jp

当センターへ来所される方へ

◆交通事故防止に

御協力をお願いします

当センターへ車で来所される場合は、図のとおり建物東側にある正門から入り「受講者用駐車場」に駐車してください。

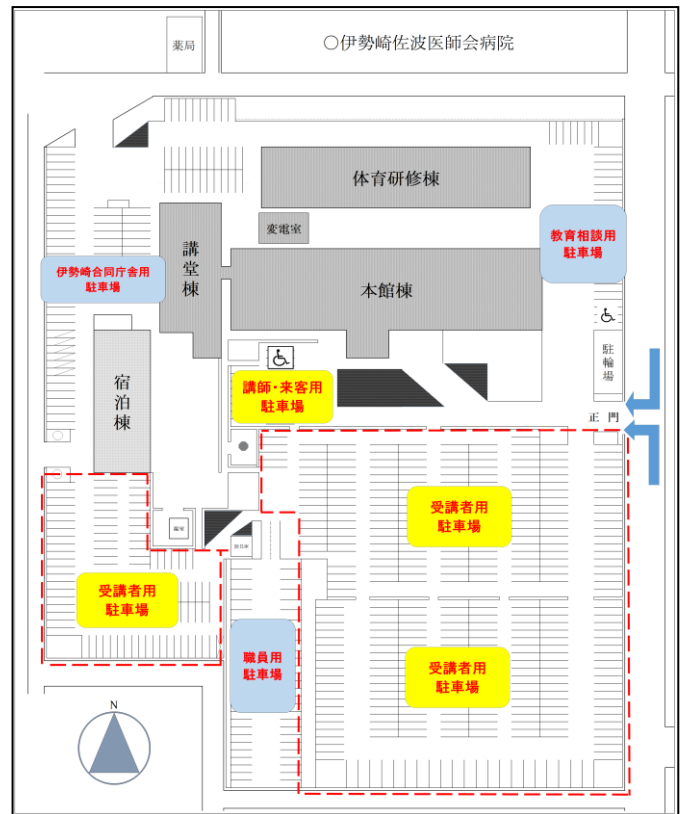
センターへの出入り及び敷地内を走行する際は、車だけでなく歩行者にも注意していただき、交通事故防止に御協力をお願いします。

◆省エネ・節電に

取り組んでいます

冷房は、天候に応じて弾力的な運転を行っています。

10月までの期間に来所される際は、クールビズでの来所をお願いします。



編集後記

通算第31号となる「電子版センターだより」をお届けします。

全国的に新型コロナウイルス感染症の拡大が落ち着き始め、イベントや行事等も徐々に再開され始めました。今後の感染状況等がどうなるのか予想できない部分もありますが、当センターでは、今後も適切な感染症対策に努めていきたいと思えます。研修講座は、今年度も集合研修とオンライン研修を組み合わせたハイブリッド型研修を推進しております。国や県の動向、今日的な教育課題に対応した研修の充実、GIGAスクール構想の実現に向けた教職員の指導力向上を図るべく、研修を展開しております。連絡事項や講義等の資料提供については、当センターWebページに随時案内していきますので、御確認ください (<https://center.gsn.ed.jp/>)。

また、当センター2階のカリキュラムセンターでは、授業改善等に資する教育関係資料を豊富に取り揃えております。資料は貸し出すこともできますので、是非、御利用ください。
(文責：K・S)